

書名	飛鳥 藤原			著者名	石川直樹／著			
出版社	夕書房	ISBN	978-4-909179-12-8		本体価格	¥5,000	発売	2025/3/3
内容	奈良県の中央部に広がる飛鳥・藤原地域は、6世紀末～8世紀初めの約100年間、飛鳥京と藤原京という2つの宮都が存在し、国づくりの礎が築かれた地です。 写真家・石川直樹は、5年間にわたってこの地をたびたび訪れ、ときには山の奥深くへと分け入りながら、古代の人びとの息遣いに耳を澄まし、現代まで続く営みの深部に迫るべく、撮影を繰り返してきました。							

書名	国宝 美の三都物語			著者名	朝日新聞出版			
出版社	朝日新聞出版	ISBN	978-4-02-252040-1		本体価格	¥1,760	発売	2025/3/7
内容	この春は、関西方面の「美の三都物語」に大注目。国宝1144点のうち、なんと約260点が、大阪・京都・奈良に一挙大集結するというのだ!! 仏像、日本絵画、工芸品、書跡、古文書など、教科書で見たことがあるものから、滅多にお目にかかれないもの、初公開のものまで、息をのむような至宝が、凜然と麗しく、威風堂々と、私たちの前に現れる。これを見逃したら次はいつになるか分からない、またとない幸運。出品作品の見どころを、誰でもわかるように解説していく、オールカラー96ページの初心者向け「保存版ガイド本」。							

書名	近江の古代寺院と造営氏族			著者名	小笠原 好彦／著				
出版社	サンライズ出版		ISBN	978-4-88325-844-4		本体価格	¥2,700	発売	2025/3/18
内容	大津宮などの宮都が営まれた近江。飛鳥時代の穴太廃寺・衣川廃寺・柿田廃寺、白鳳時代の崇福寺・南滋賀町廃寺などは、誰が何のために営んだのか。それらの遺構・瓦類などの発掘成果と『日本書紀』などの文献から検証し、在来・渡来系の有力氏族が営んだの古代寺院の実像に迫る。								

書名	むかしのくらし図鑑			著者名	イラスト:金斗鉾 監修:大石学、小嶋圭			
出版社	Gakken	ISBN	978-4-05-204789-3		本体価格	¥2,400	発売	2025/3/21
内容	しかけをめくと、縄文時代から明治時代までの暮らしが楽しく学べる。その時代の衣服や食事、建物、文化、出来事などが絵がわりでわかる。図鑑ページには資料が満載。大正、昭和、平成の写真も紹介している。初めて歴史に出会える絵本図鑑。							

書名	古都の撮り方、歩き方。			著者名	写真:原田寛			
出版社	日本写真企画	ISBN	978-4-86562-202-7		本体価格	¥1,800	発売	2025/3/31
内容	古都(京都、奈良、鎌倉)の写真の撮り方							